

# ADWAYS

## 2022

MAY 2, 2022

## PRESENTATION MATERIAL

# FIRST QUARTER

東京証券取引所プライム市場 :2489  
株式会社アドウェイズ

2022年12月期第1四半期 決算説明会  
2022年 5月2日 取締役会長 岡村 陽久

# 目次

1. 第1四半期の業績 ...P.7
2. 事業概況 ...P.19
3. 補足資料 ...P.38

# 新市場区分 「プライム市場」 移行

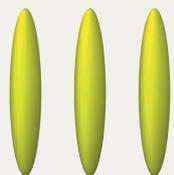
株式会社東京証券取引所が実施する市場区分の見直しにあたり、  
2022年4月4日より当社は「プライム市場」へ移行いたしました。



当社は、プライム市場においても、当社グループの成長、事業拡大、利益の向上、ガバナンスの強化の充実にとどまらず、全てのステークホルダーの皆様へ本質的な価値をお届けできるよう、引き続き、世界中の皆様から「なにこれ すげー こんなのはじめて」と言われるよう、企業価値の向上を図ってまいります。

# 株式会社博報堂 D Y ホールディングスの 持分法適用会社に

Hakuhodo DY holdings



Hakuhodo DY  
media partners



**ADWAYS**

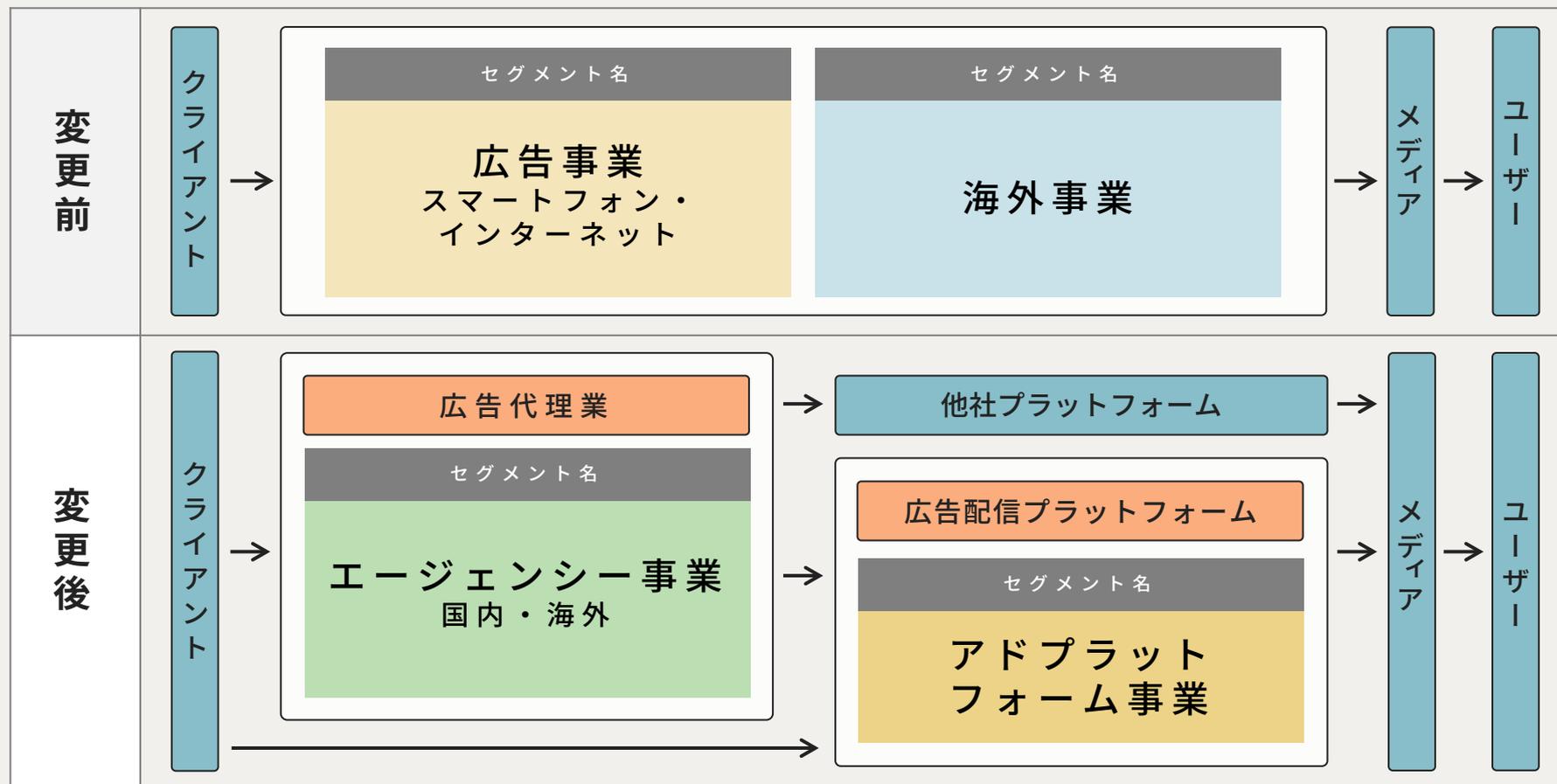
2019年11月に株式会社博報堂 D Y メディアパートナーズと資本業務提携契約を、2021年11月には博報堂 D Y メディアパートナーズの親会社である株式会社博報堂 D Y ホールディングスと資本提携契約を締結いたしました。また、2022年3月24日に開催された当社第22期定時株主総会の決議により、同社が指名した梅本翔太氏が取締役を選任されたことに伴い、当社は同社の持分法適用会社となりました。

# 本資料における記載方法について

- ・ 2021年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しております。それに伴い「旧基準での売上高」を「取扱高」として記載しております。
- ・ 2021年12月期より決算期を変更したため、前年同四半期比較は2021年3月期第4四半期(2021年1月～3月)と比較しております。
- ・ 2022年12月期より報告セグメントを、アプリ・ウェブの包括的マーケティング支援を行う「エージェンシー事業(国内/海外)」と、UNICORN・アフィリエイトなどの広告サービスの運営を行う「アドプラットフォーム事業」としております。詳細は次ページをご確認ください。
- ・ 過年度との比較のため、2021年3月期の新セグメントでの「取扱高」、「売上高」、2021年12月期、2022年12月期の「取扱高」を参考値として記載しておりますが、会計監査人による監査を受けた正式な数値ではない事をご了承ください。
- ・ 売上総利益率、販管費率、営業利益率、経常利益率、利益率(親会社株主に帰属する純利益率)、売上原価率、掲載料率は上記取扱高に対する比率を記載しております。

# 報告セグメントの変更

報告セグメントを、包括的マーケティング支援を行う「エージェンシー事業(国内/海外)」と、UNICORN・アフィリエイトなどの広告サービスの運営を行う「アドプラットフォーム事業」に変更。



※報告セグメントの国内・海外の切り分けは、変更前（2021年12月期以前）は当社グループ会社の所在地により、変更後（2022年12月期以降）はクライアントの所在地によります。

Chapter1 : **First quarter results**

1.

第1  
四半期  
の業績

# 当四半期の業績と 前年同四半期比較

[ 単位：百万円 ]

	2022年12月期 第1四半期 (2022年1月～3月)	前年同四半期比 2021年3月期第4四半期 (2021年1月～3月)		
		実績	増減額	増減率
取扱高	15,826	15,566	+259	+1.7%
売上高	3,518	3,214	+303	+9.4%
売上総利益	2,804	2,580	+223	+8.7%
販管費	2,149	2,034	+114	+5.7%
営業利益	655	546	+108	+19.9%
経常利益	696	560	+135	+24.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	501	514	▲13	▲2.7%

取扱高 前期比 **2億59百万円の増加** (1.7%増)

営業利益 前期比 **1億8百万円の増加** (19.9%増)

# 2022年12月期業績予想の修正

[ 単位：百万円 ]

	取扱高 (参考値)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
前回発表予想	58,000	13,500	1,100	1,400	700
今回修正予想	59,000	13,800	1,420	1,690	1,000
増減額	+1,000	+300	+320	+290	+300
増減率	+1.7%	+2.2%	+29.1%	+20.7%	+42.9%

※「前回発表予想」とは2021年2月10日付け「2021年12月期決算短信」で発表した数値。

※2022年4月28日に適時開示いたしました「投資有価証券売却に伴う利益計上（見込み）についてのお知らせ」に記載の通り、当社グループが保有する投資有価証券の一部を売却いたしますので、株式売却による利益の計上が見込まれておりますが、現段階では業績に与える影響を算定できないため、本修正には含まれておりません。影響額が判明次第、速やかに開示いたします。

# 2022年12月期業績予想と実績

[ 単位：百万円 ]

	取扱高 (参考値)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
前回発表予想	58,000	13,500	1,100	1,400	700
今回修正予想	59,000	13,800	1,420	1,690	1,000
実績	15,826	3,518	655	696	501
前回発表予想 に対する進捗率	27.3%	26.1%	59.6%	49.7%	71.6%
今回修正予想 に対する進捗率	26.8%	25.5%	46.2%	41.2%	50.1%

※「前回発表予想」とは2021年2月10日付け「2021年12月期決算短信」で発表した数値。

# 人・事業・機械への投資

2022年12月期 当初の投資予定額：約5.2億円

事業年度	当初の投資予定額	当初の業績予想の 営業利益	当初の 投資前営業利益
2022年12月期	約5.2億円	11億円	約16.2億円

2022年12月期 計画修正後の投資予定額：約8.4億円

事業年度	修正後の投資予定額	業績予想を修正後の 営業利益	修正後の 投資前営業利益
2022年12月期	約8.4億円	14.2億円	約22.6億円



人への投資  
(人員強化)

修正前  
約2.4億円 → 修正後  
約3.9億円



事業への投資  
(事業拡大)

修正前  
約0.9億円 → 修正後  
約1.4億円



機械への投資  
(業務効率化)

修正前  
約1.9億円 → 修正後  
約3.1億円

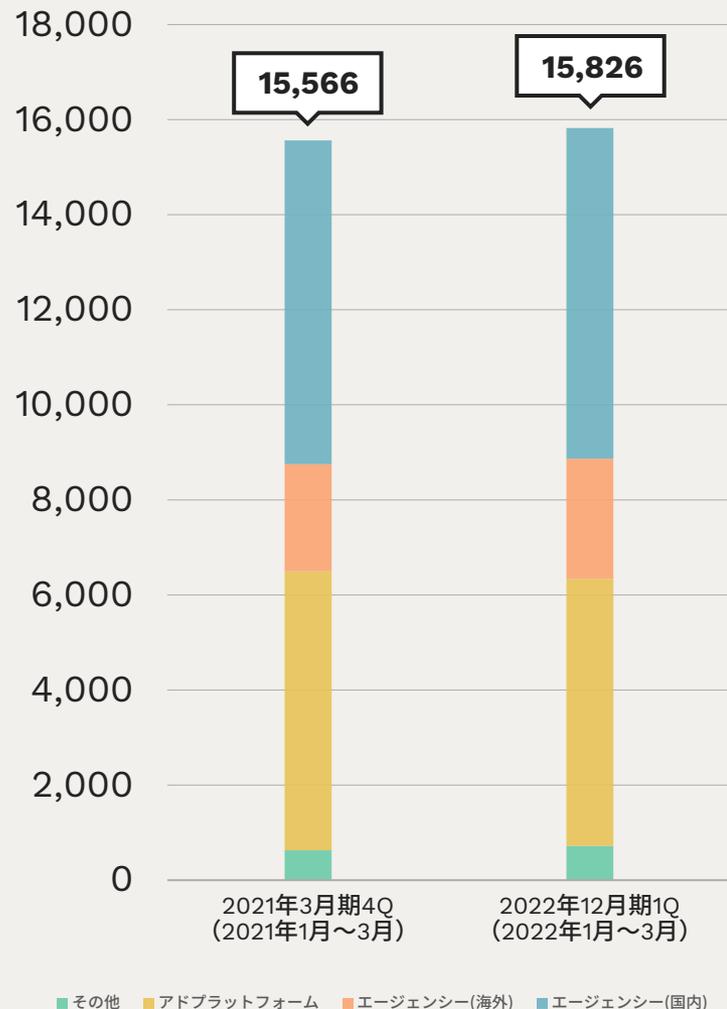
より積極的な投資を行い、広告事業の地盤固めを行う。

※ここでの投資とは、過去とは異なる経費利用（新規投資）を指します。

※投資前営業利益とは、投資を行わなかった場合の営業利益を指します。

# 取扱高の前年同四半期比較

単位：百万円



## エージェンシー・・・94億84百万円

(アプリ・ウェブの包括的マーケティング支援事業)

前年同四半期比：4億15百万円増（4.6%増）

## 国内・・・69億57百万円

前年同四半期比：1億41百万円増（2.1%増）

前年同四半期に一部のQRコード決済アプリの大型プロモーションがあり、その反動減があったものの、複数のマンガアプリが大きく伸長したため増加。

## 海外・・・25億26百万円

前年同四半期比：2億74百万円増（12.2%増）

中国クライアントの国外展開強化に伴う、グローバル広告配信により広告費が増加。台湾におけるブランド広告が伸長。

## アドプラットフォーム・・・56億19百万円

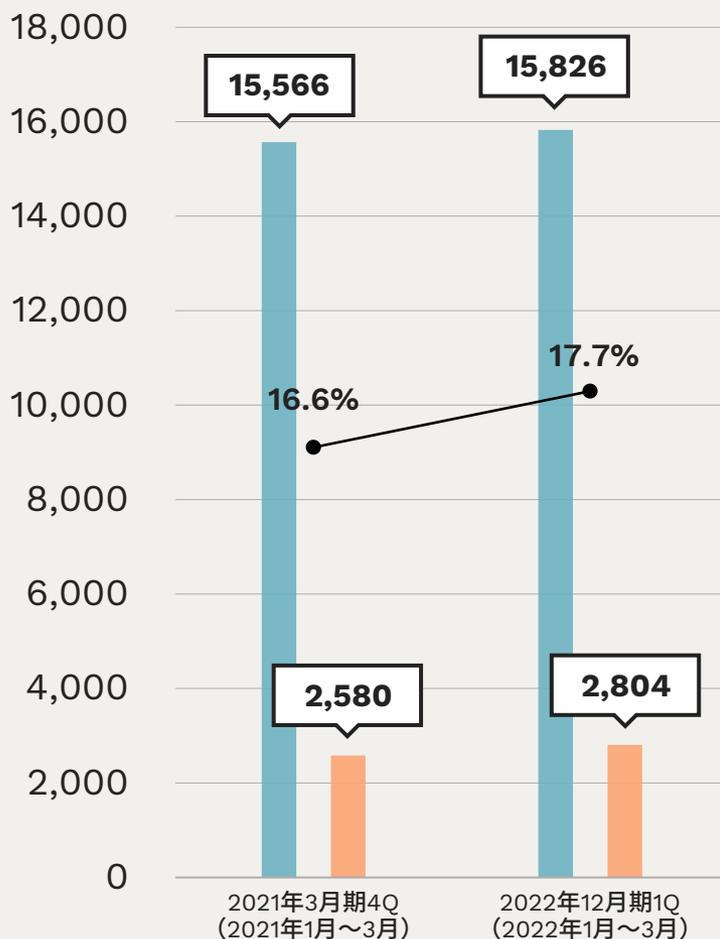
(UNICORN・アフィリエイトなどの広告サービス事業)

前年同四半期比：2億48百万円減（4.2%減）

UNICORNの取扱高は大きく増加したものの、一部の消費者金融やクレジットカードクライアントによるアフィリエイトの取扱高が減少。

# 売上総利益の前年同四半期比較

単位：百万円



当四半期売上総利益 28億4百万円

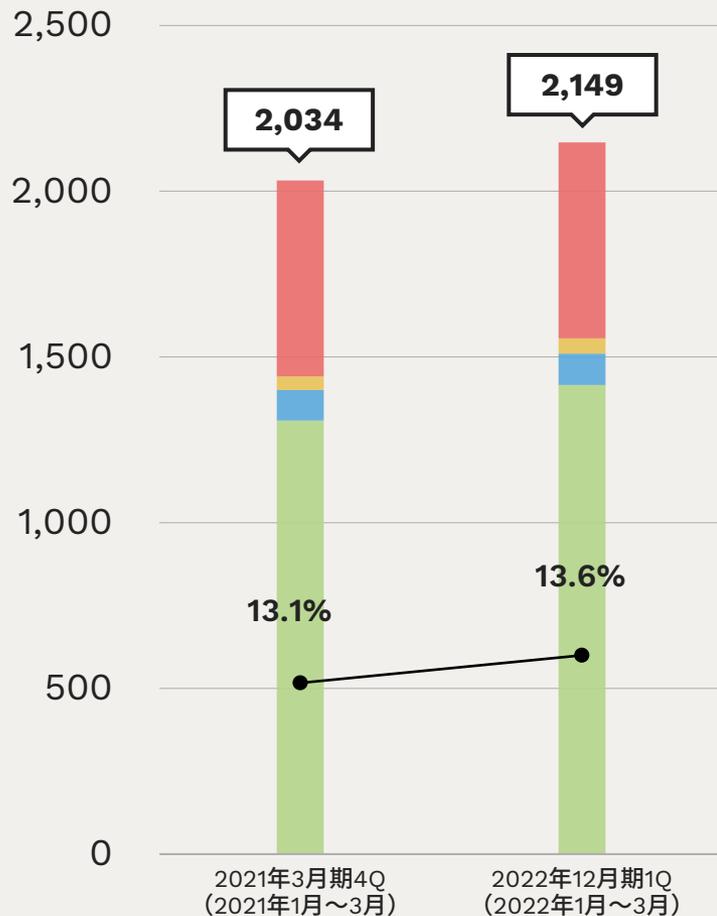
前年同四半期比：2億23百万円増（8.7%増）

売上総利益率：17.7%（1.1ポイント増）

■ 取扱高 ■ 売上総利益 ● 売上総利益率

# 販管費の前年同四半期比較

単位：百万円



■ 人件費・採用教育費 ■ 地代家賃 ■ 減価償却費  
■ その他経費 ● 販管費率

**当四半期販管費 21億49百万円**

前年同四半期比：1億14百万円増 (5.7%増)

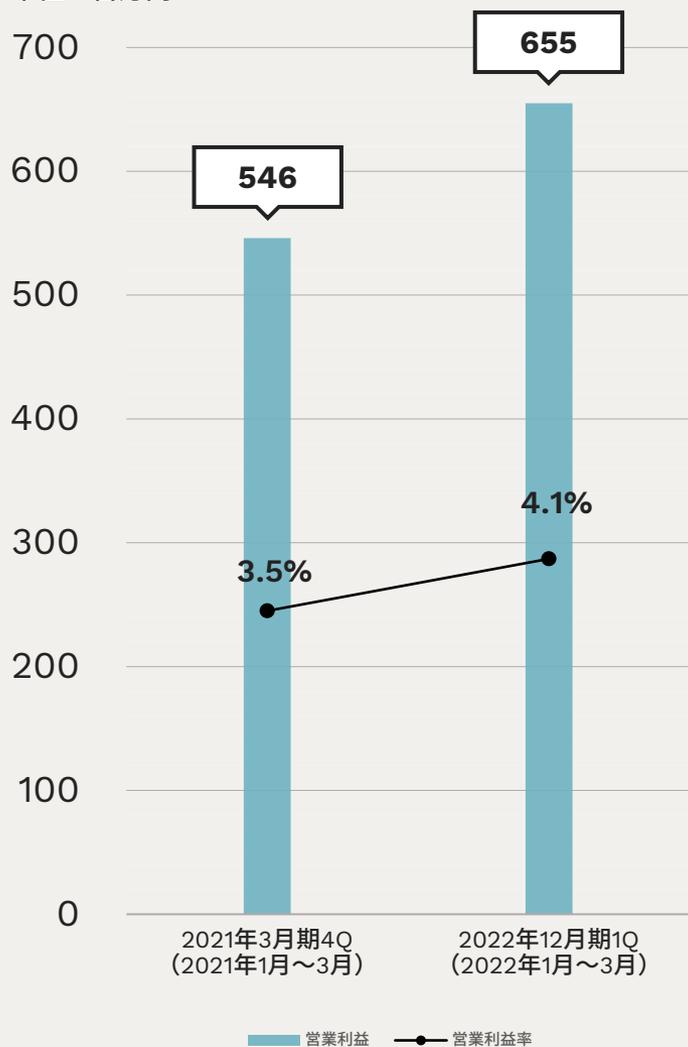
販管費率：13.6% (0.5ポイント増)

**主な増加要因**

・ 人件費・採用教育費の増加 : 約1億6百万円増

# 営業利益の前年同四半期比較

単位：百万円



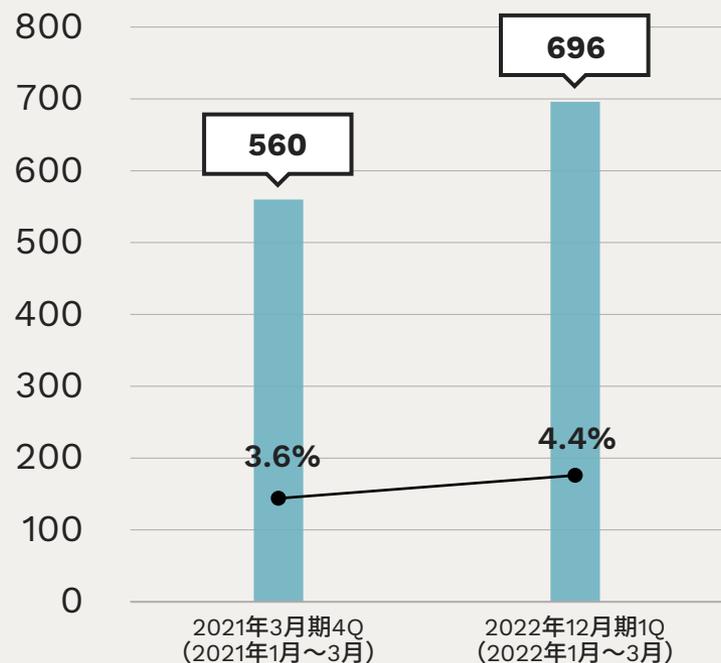
**当四半期営業利益 6億55百万円**

前年同四半期比：1億8百万円増（19.9%増）

営業利益率：4.1%（0.6ポイント増）

# 経常利益の 前年同四半期比較

単位：百万円



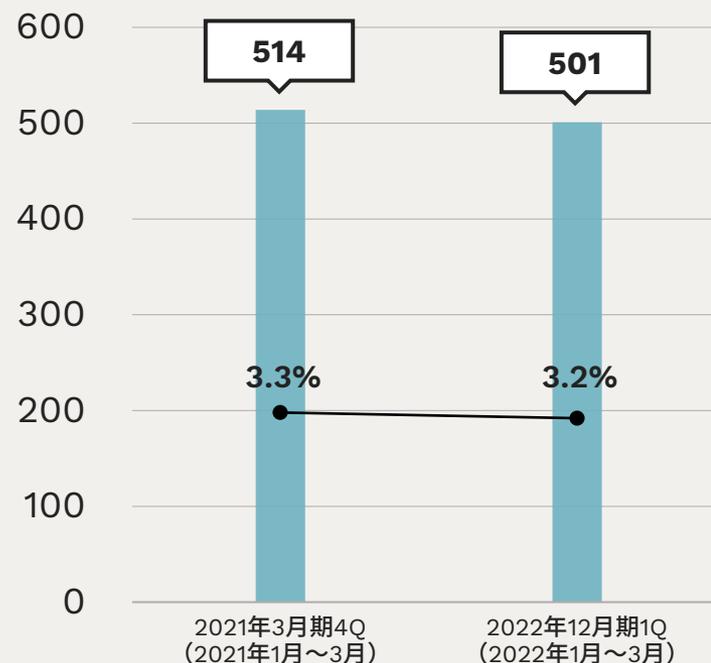
**当四半期経常利益 6億96百万円**

前年同四半期比 : 1億35百万円増 (24.2%増)

経常利益率 : 4.4% (0.8ポイント増)

# 親会社株主に帰属する 四半期純利益の 前年同四半期比較

単位：百万円



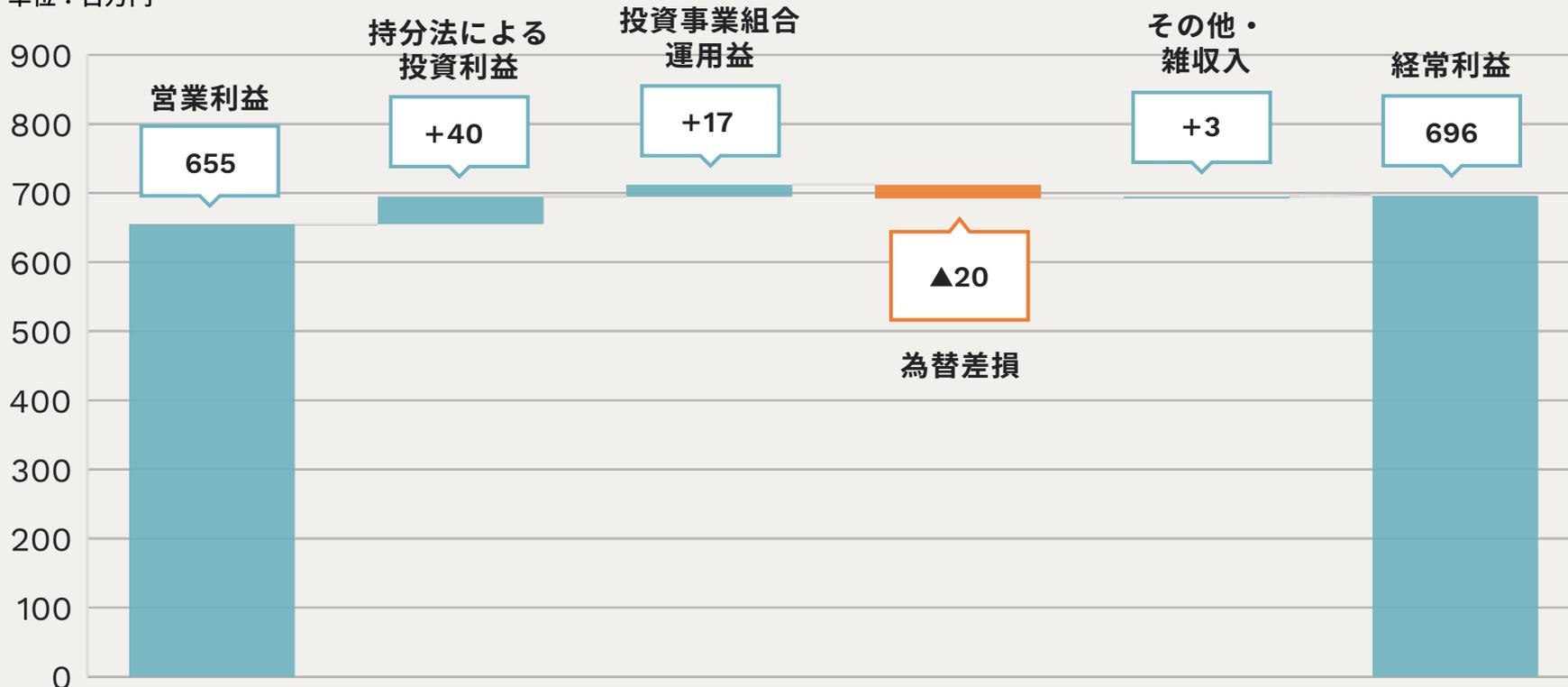
親会社株主に帰属する  
**当四半期純利益 5億1百万円**

前年同四半期比 : 13百万円減 (2.7%減)

利益率 : 3.2% (0.1ポイント減)

# 経常利益の推移

単位：百万円



持分法による投資利益 . . . 40百万円

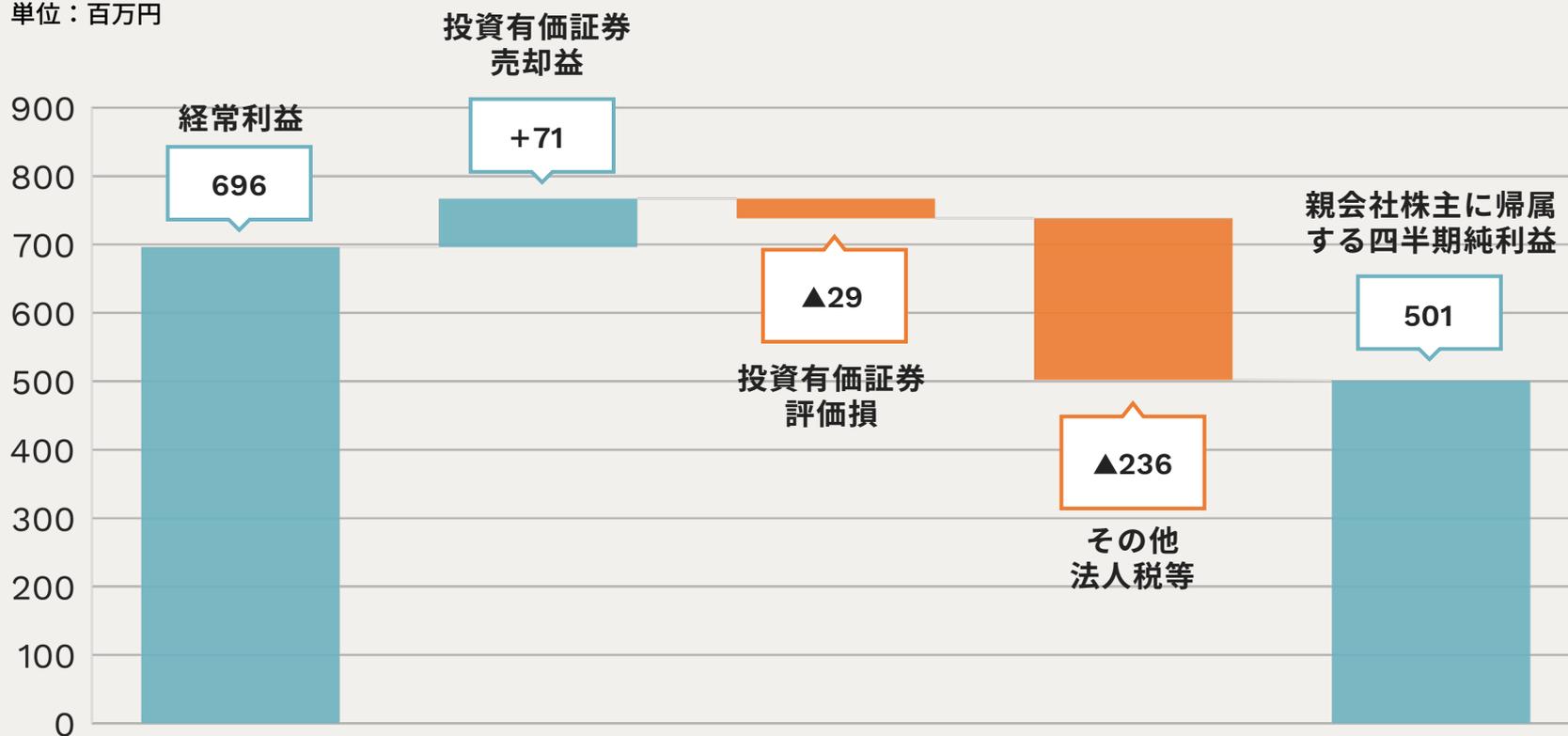
為替差損 . . . . . ▲20百万円

投資事業組合運用益 . . . 17百万円

その他・雑収入 . . . . 3百万円

# 親会社株主に帰属する四半期純利益の推移

単位：百万円



投資有価証券売却益 . . . . . 71百万円

投資有価証券評価損 . . . . . ▲29百万円

その他法人税等 . . . . . ▲2億36百万円

# 2.

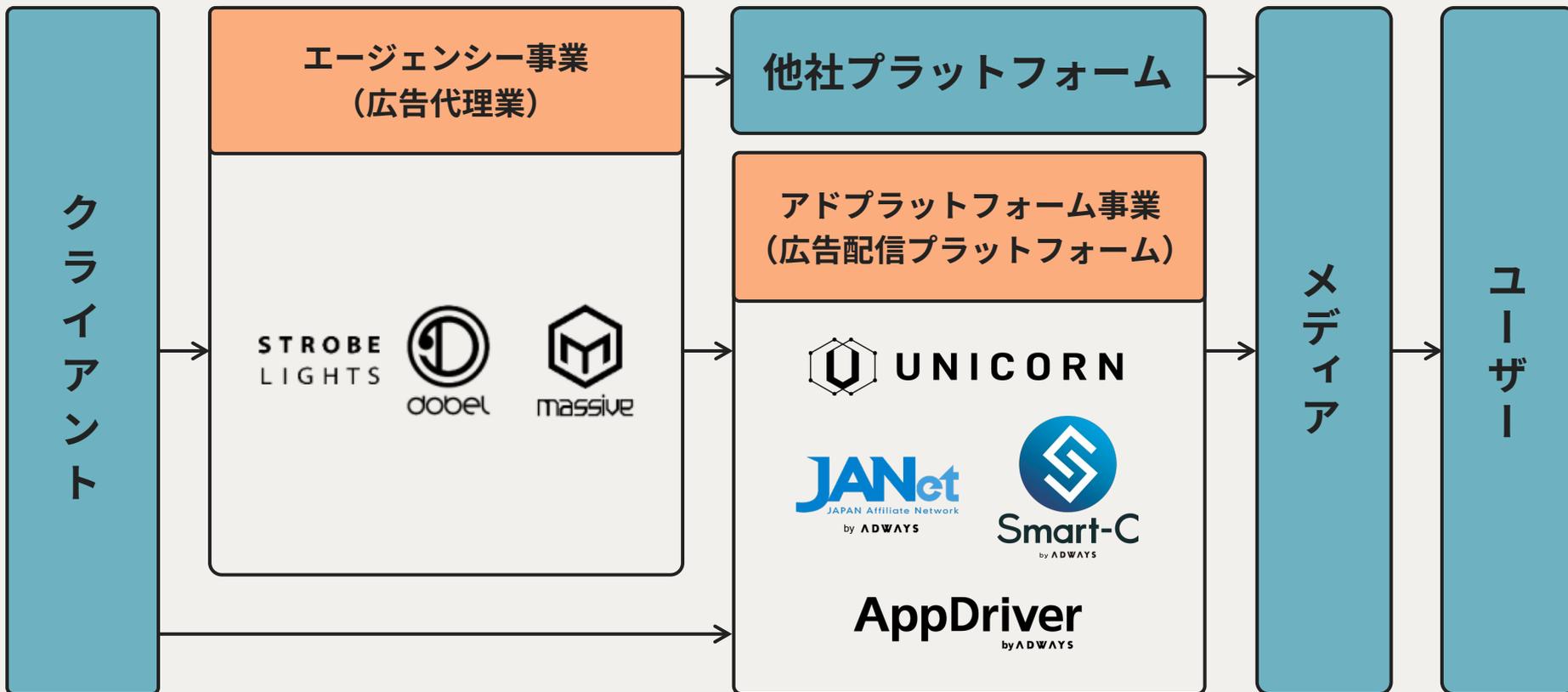
Chapter 2 : business overview

# 事業概況

# 広告事業の概況

First quarter

## 広告事業の分類



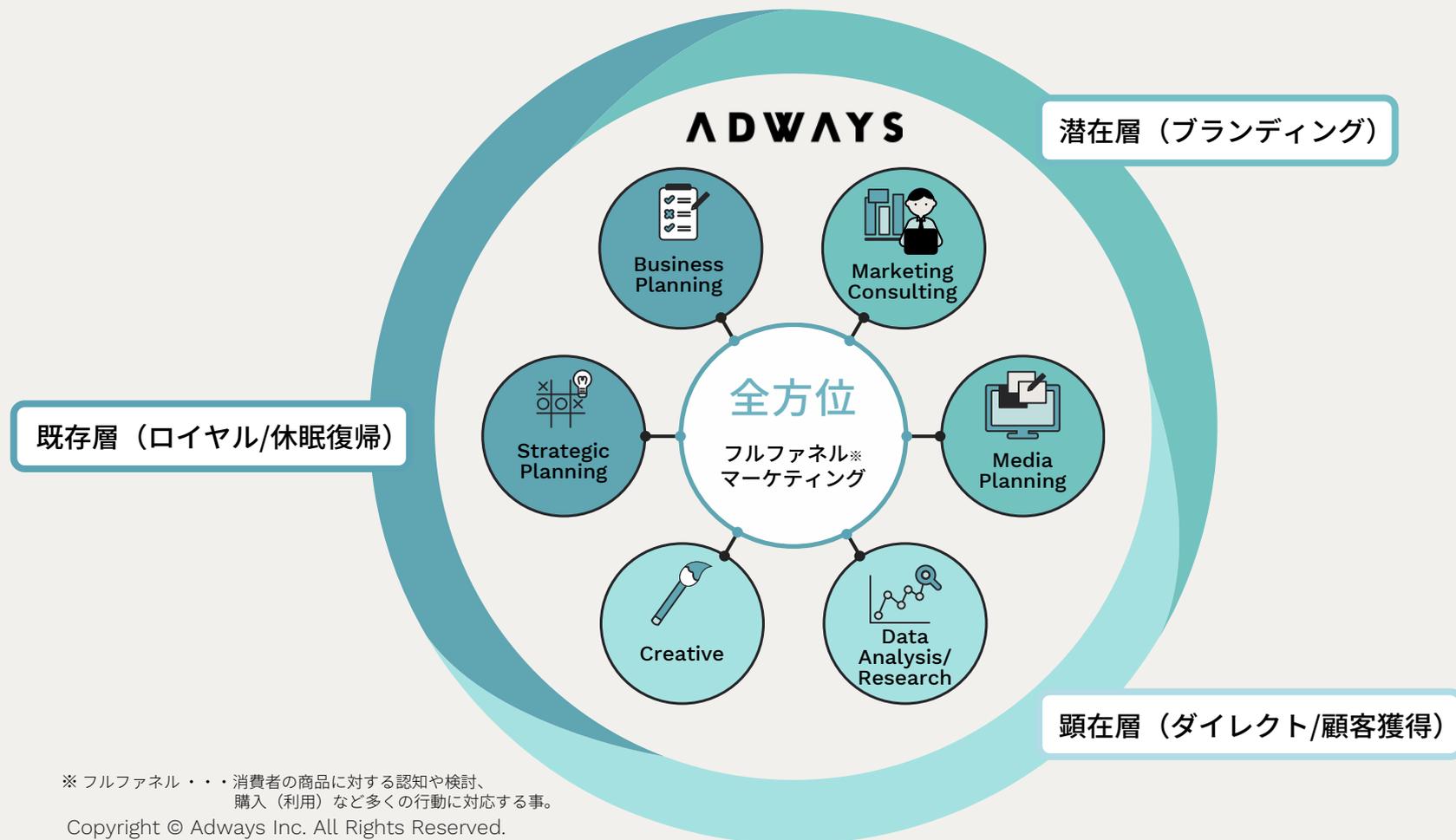
広告事業を、他社サービスの販売も行うエージェンシー事業と、自社の広告配信プラットフォームを運営するアドプラットフォーム事業に分類。

# エンジニアリング 事業 (国内・海外)

アプリ・ウェブの包括的マーケティング支援事業

# エージェンシー事業 事業方針

オフライン&オンラインの統合プランニングにより  
マーケティング領域を全方位カバー



※ フルファネル・・・消費者の商品に対する認知や検討、  
購入 (利用) など多くの行動に対応する事。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

# テクノロジーを駆使し、 本質的な広告効果の最大化を図る



## 媒体分析ツール

各媒体のレポートデータや運用者の運用ログから、媒体のアルゴリズム解析および最適な運用手法を確立。



## 運用アシスタント ツール

最適な運用手法を案件のジャンルに合わせてシステムが提案。細やかな運用最適化によって広告効果を向上。



## クリエイティブ 分析ツール

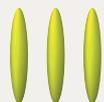
媒体視点でのクリエイティブを分析。各媒体のアルゴリズムを分析し、最適なクリエイティブ制作・運用を実現。

主要メガプラットフォームのアルゴリズムを解析し、  
最適な運用を実現することで広告効果最大化へ導く。

# 資本提携契約による 戦略的パートナーシップの強化

当社グループが有する「運用力」「クリエイティブ力」「開発力」等と、  
博報堂DYグループが有するテレビ×デジタルの統合プランニングやマーケティング戦略設計に  
関するノウハウといった両グループの強みを更に掛け合わせ、より強固な協力体制を構築

Hakuhodo DY holdings



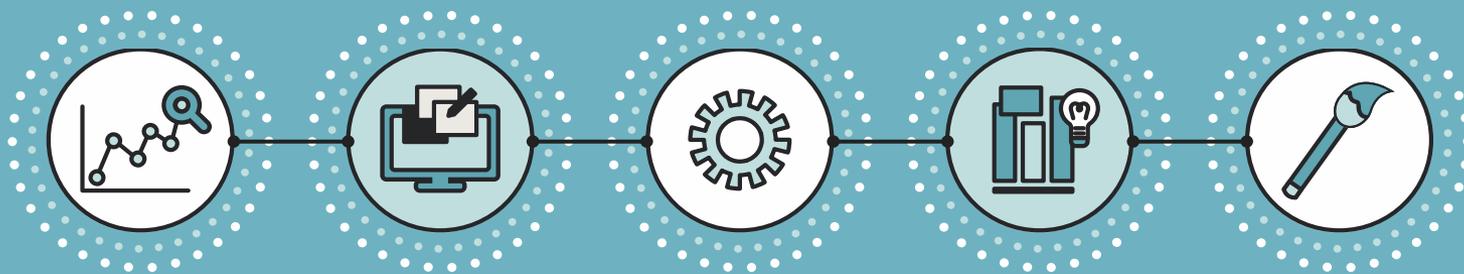
Hakuhodo DY  
media partners

テレビ×デジタルの統合プランニングや  
マーケティング戦略設計に関するノウハウ



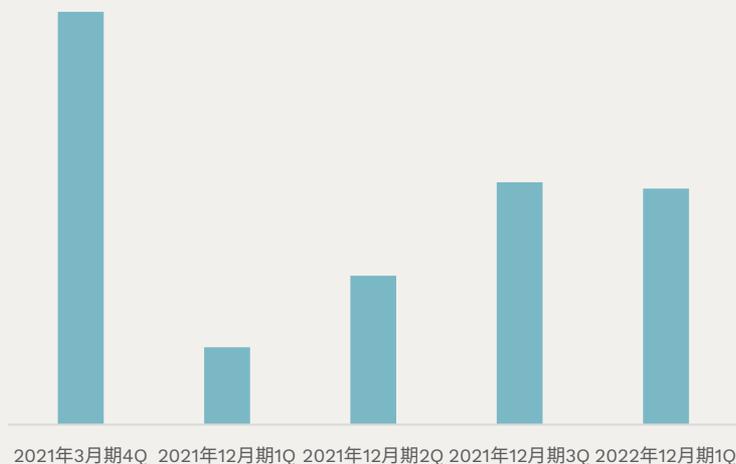
ADWAYS

運用力・クリエイティブ力・開発力

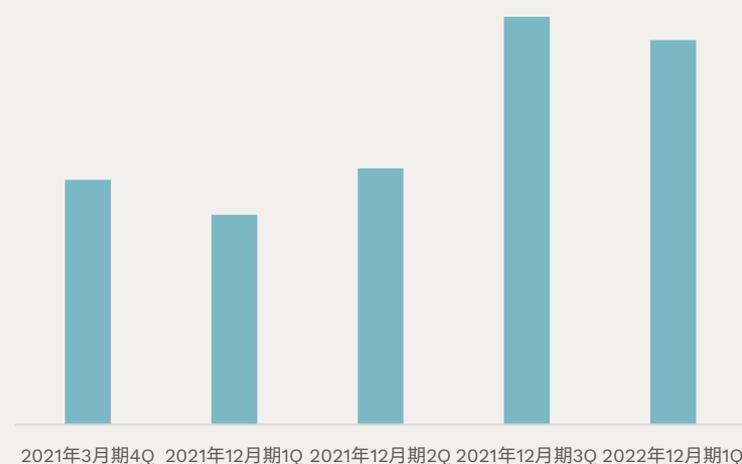


# 博報堂 D Y グループ 資本業務提携の 進捗

博報堂 D Y グループ 協業  
取扱高推移



博報堂 D Y グループ 協業  
アカウント数推移



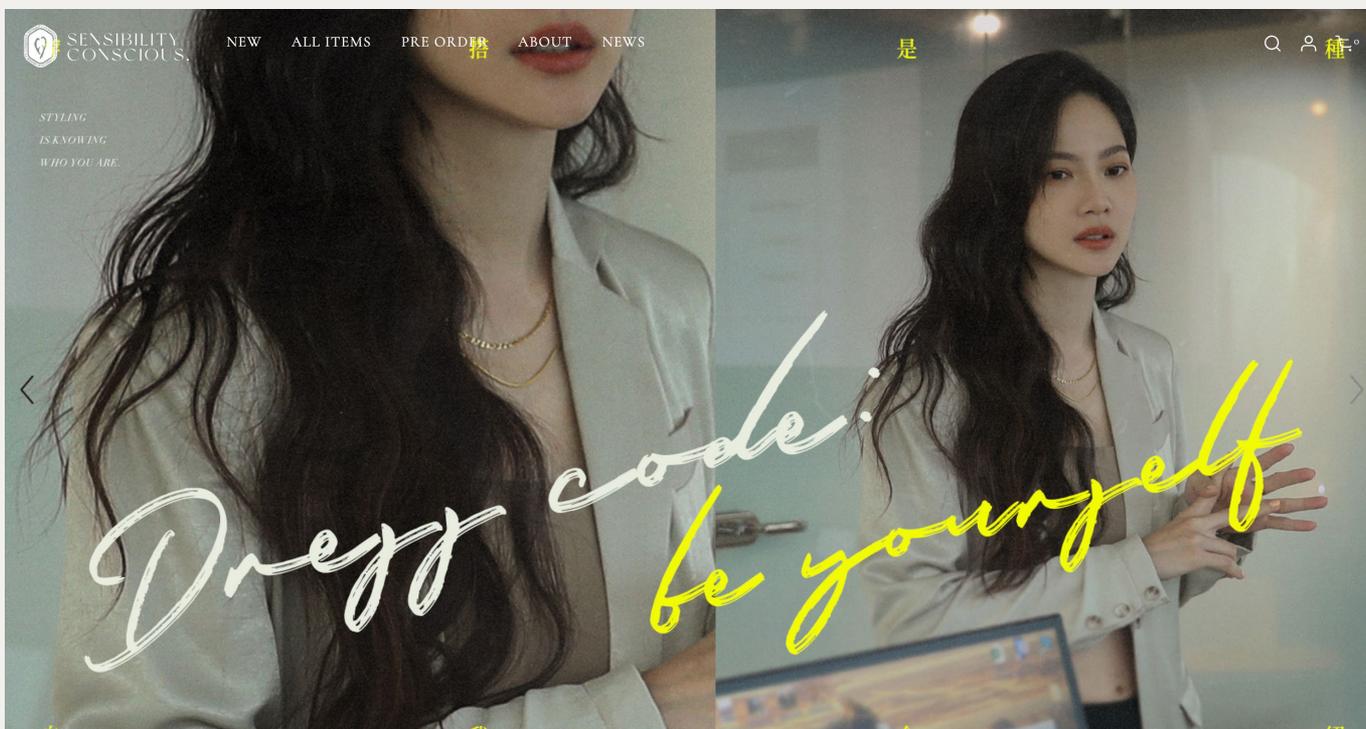
前年同四半期比で、取扱高については減少したものの、アカウント数については伸長。2021年12月期1Q以降の取扱高は堅調に推移。

# 海外における マーケティング支援事業

First quarter

## 台湾

台湾のタレント、ジョアンヌ・ツァン（曾之喬）と  
ファッションブランド「SENSIBILITY CONSCIOUS」をローンチ



アドプラットフォーム  
フォーラム  
事業

UNICORN・アフィリエイトなどの広告サービス事業

# アドプラットフォーム事業 事業方針

プロダクトフェーズに合わせた戦略、施策実施



ジャンル拡大、ブランド広告主への取り組み強化



新たな価値創出に向けたプロダクトの再構築



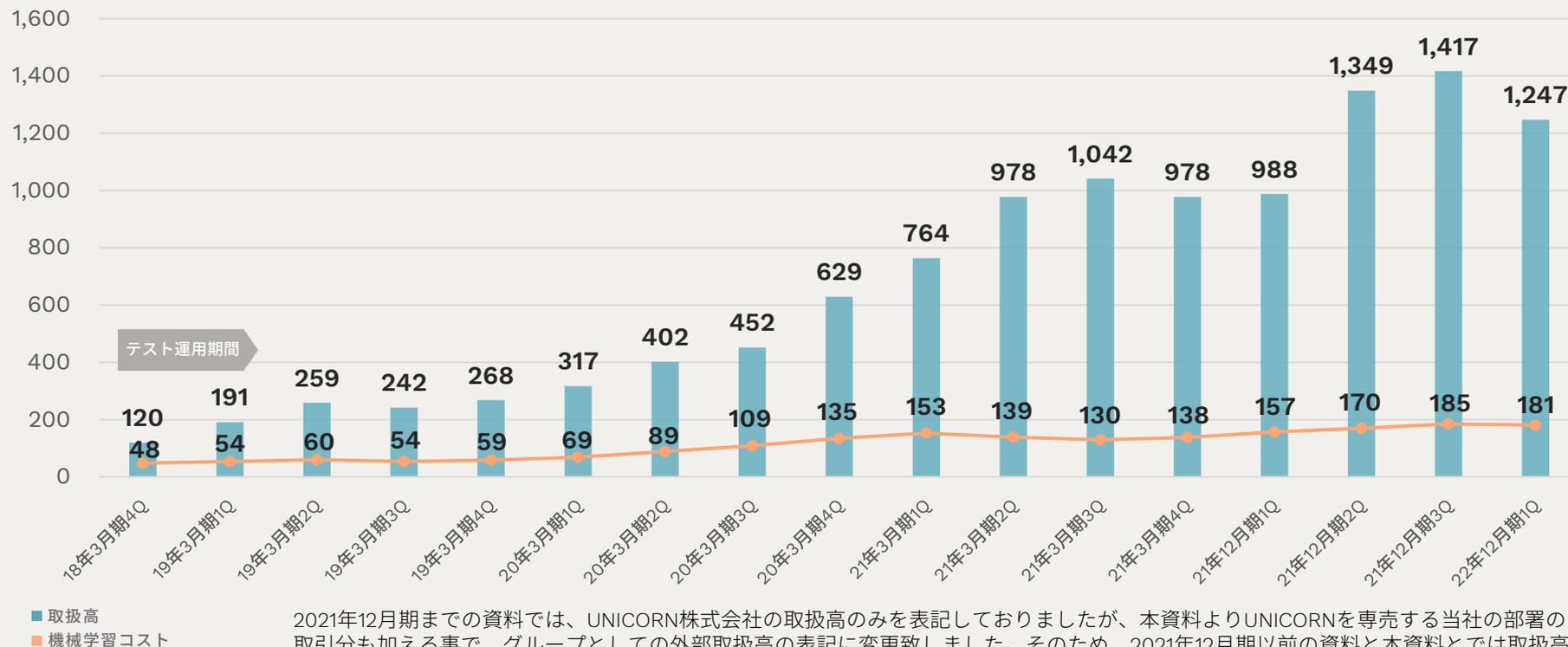
**UNICORN**  
**REDEFINE DIGITAL MARKETING**

# UNICORNの進捗

First quarter

## UNICORNの取扱高／機械学習コスト推移

単位：百万円



取扱高は前年同期比で127%と伸長。

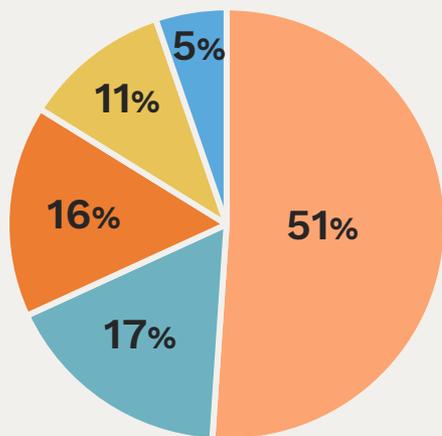
About UNICORN

# UNICORNの進捗

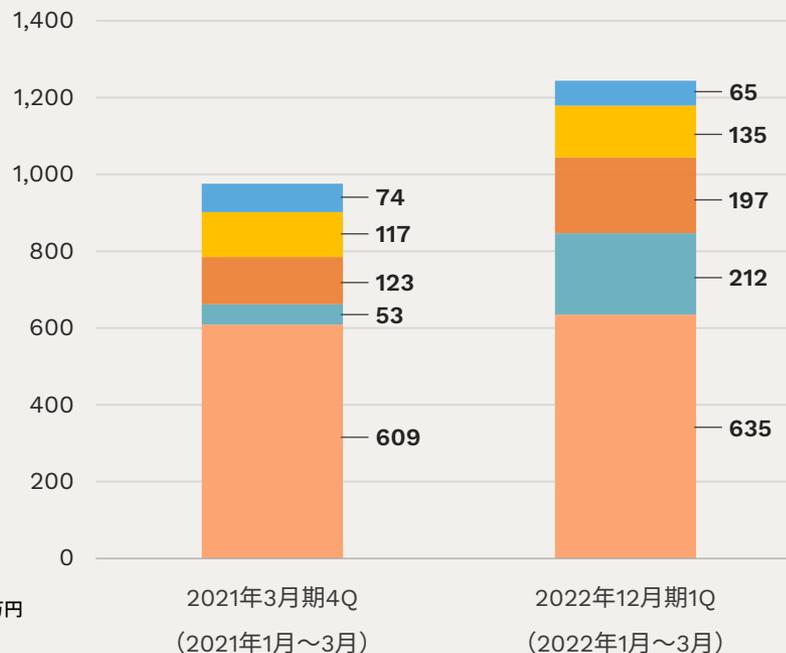
First quarter

## ジャンル別進捗

2022年12月期1Q実績



■ ゲーム ■ ブランド ■ マンガ ■ VOD ■ その他



単位：百万円

■ ゲーム ■ ブランド ■ マンガ ■ VOD ■ その他

2021年12月期まで「その他」に分類していた「ブランド」カテゴリを、2022年12月期より、個別で表示しております。  
2021年12月期までの資料では、UNICORN株式会社の取扱高のみを表記しておりましたが、本資料よりUNICORNを専売する当社の部署の取引分も加える事で、グループとしての外部取扱高の表記に変更致しました。そのため、2021年12月期以前の資料と本資料とは取扱高が異なります。（他商材も扱う部署の取引分は加えておりません）

各カテゴリが大きく伸長。  
特にブランド広告主との取引が大幅に増加。

About UNICORN

# UNICORNの進捗

First quarter

## UNICORNの業績：前年同四半期比較

[ 単位：百万円 ]

	2022年12月期 第1四半期 (2022年1月～3月)	前年同四半期比 2021年3月期第4四半期 (2021年1月～3月)		
		実績	増減額	増減率
取扱高	1,247	978	+269	+27.5%
売上総利益	409	272	+136	+50.1%
営業利益	121	32	+88	+273.5%

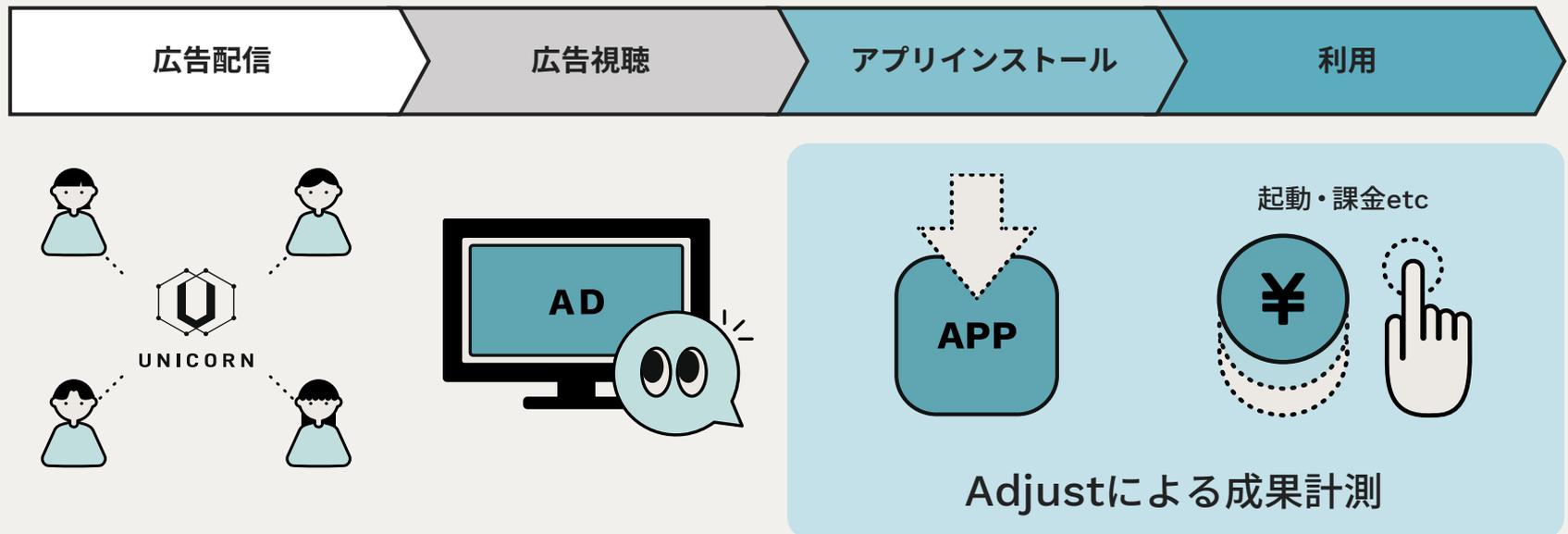
2021年12月期までの資料では、UNICORN株式会社の取扱高のみを表記しておりましたが、本資料よりUNICORNを専売する当社の部署の取引分も加える事で、グループとしての外部取扱高の表記に変更致しました。そのため、2021年12月期以前の資料と本資料とでは取扱高が異なります。（他商材も扱う部署の取引分は加えておりません）

取扱高、売上総利益、営業利益、それぞれ大幅に伸長。

About UNICORN

# AdjustとコネクテッドTV向け 広告の効果計測連携を開始

従来のTVCM広告同様、視聴者へのリーチはもちろんのこと、  
視聴者に合わせた配信を実現

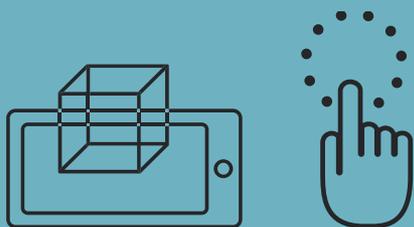


Adjustとのシステム連携により、UNICORN経由で配信されたコネクテッドTV向け広告の効果やその広告を視聴し、アプリDLをしたユーザーの行動の計測が可能に。

# 先進的な広告手法

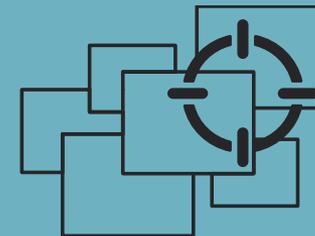
First quarter

## UNICORN Interactive AD



### 最先端の クリエイティブフォーマット

Banner / Video  
Reward Video  
Native / Interactive

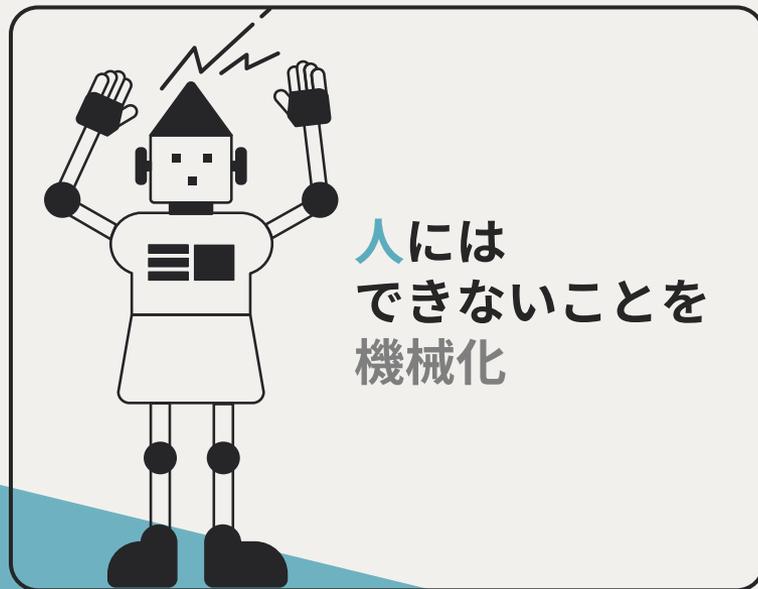


### UNICORNでの 高精度な配信最適化

コンテキスト / ロケーション  
デモグラフィック  
キャリア / 承認リスト  
(approved list)

これまでに無かったクリエイティブで、  
これまでは出会えなかったユーザーと  
全く新しい形のコミュニケーションを実現。

# 人と機械の共生



×



## パフォーマンスの最大化



# Beyond Everything Internet

インターネットの全てを越えていく

なにが  
すげー  
みんなの初めて

# 本日はありがとうございました

本資料は株式会社アドウェイズの事業及び業界動向についての株式会社アドウェイズによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確かさ、その他要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社アドウェイズは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、発表日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社アドウェイズにより2022年5月2日現在においてなされたものであり、様々な要因の変化等によって、実際の業績とは異なる可能性がありますことをご了承ください。

3

Chapter 3 : Supplementary materials

補 足  
資 料

# 連結取扱高 年間業績推移

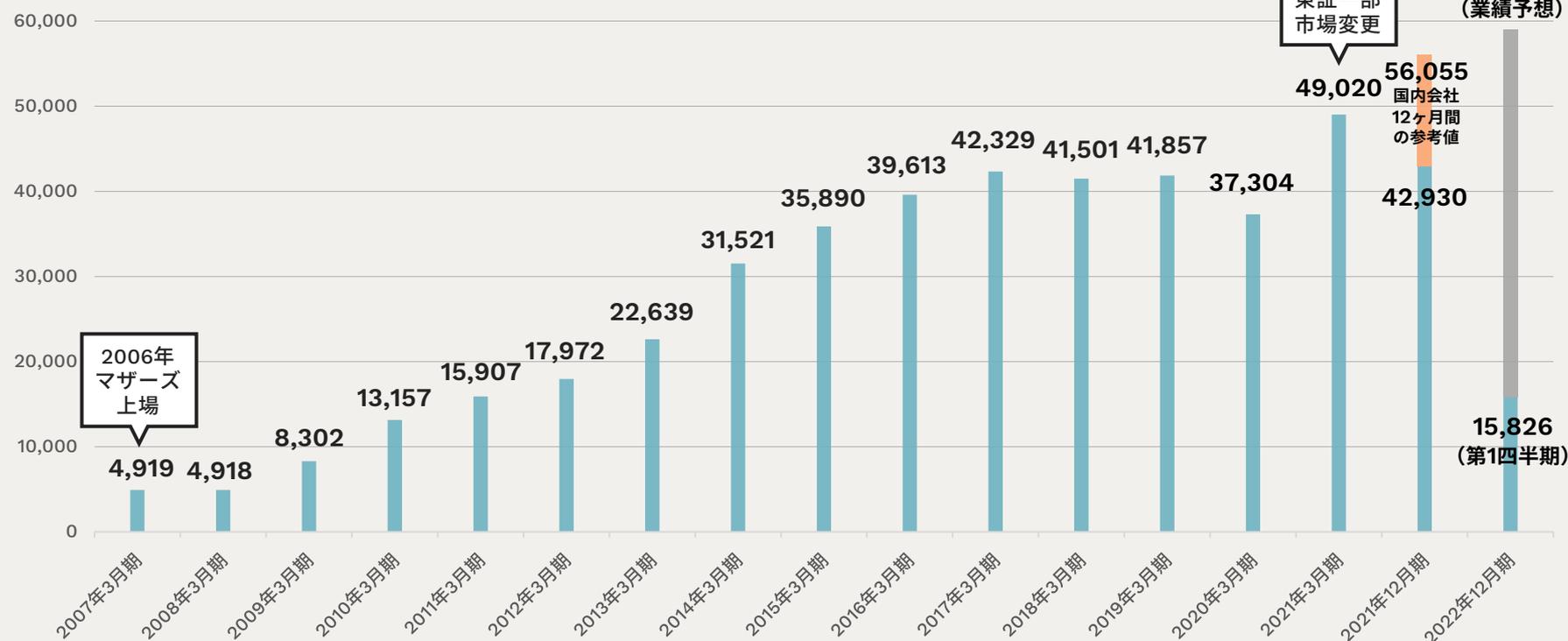
PC/フィーチャーフォン  
アフィリエイト事業に注力

スマートフォン広告事業  
の開始と拡大

海外への注力

新規プロダクト  
への注力

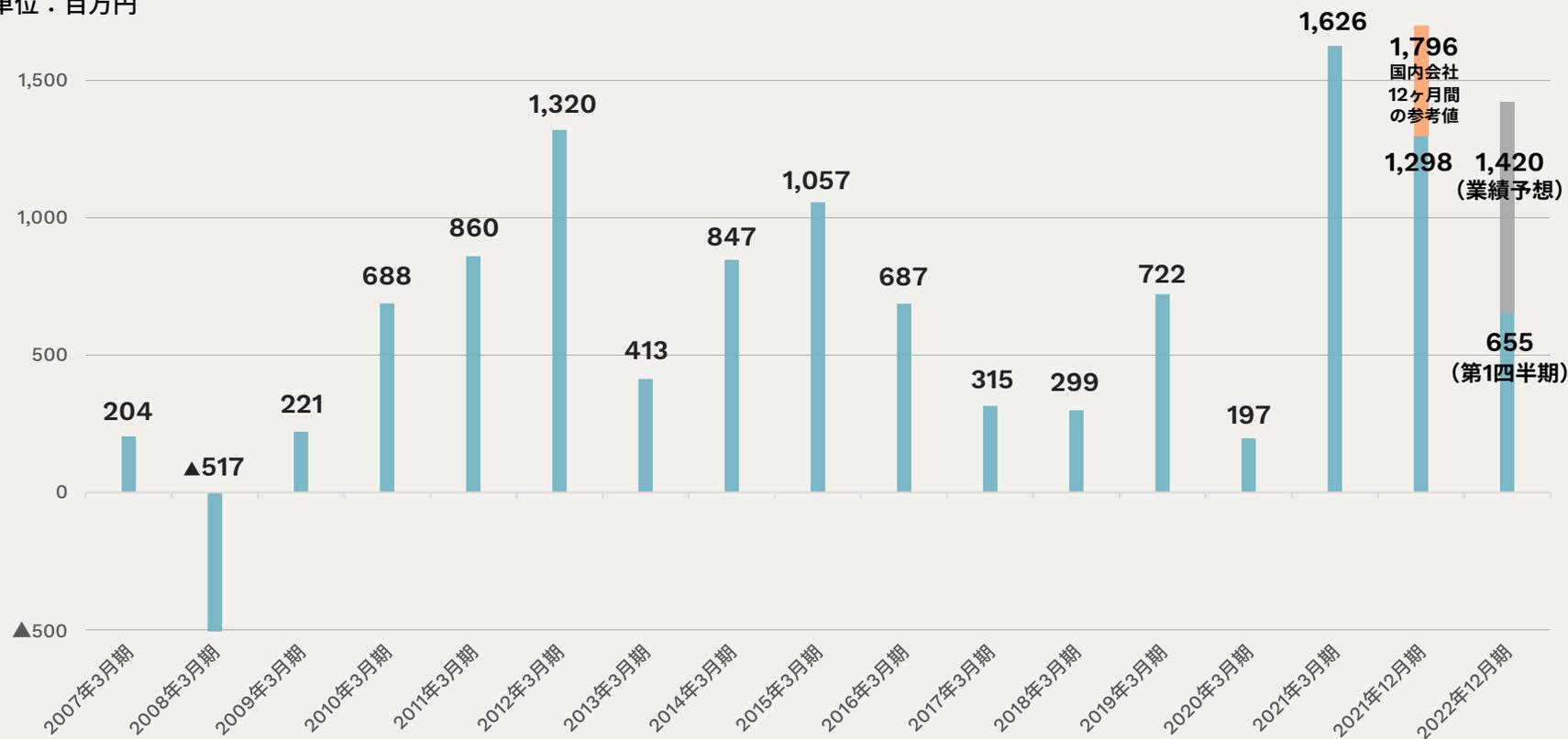
単位：百万円



※2021年12月期「国内会社12ヶ月間」は、2021年12月期の実績に、2021年3月期第4四半期(2021年1月～3月)の国内会社を加えた参考値です。  
(決算期の変更に伴い、2021年12月期は国内会社の会計期間が9ヶ月間となります)

# 連結営業利益 年間業績推移

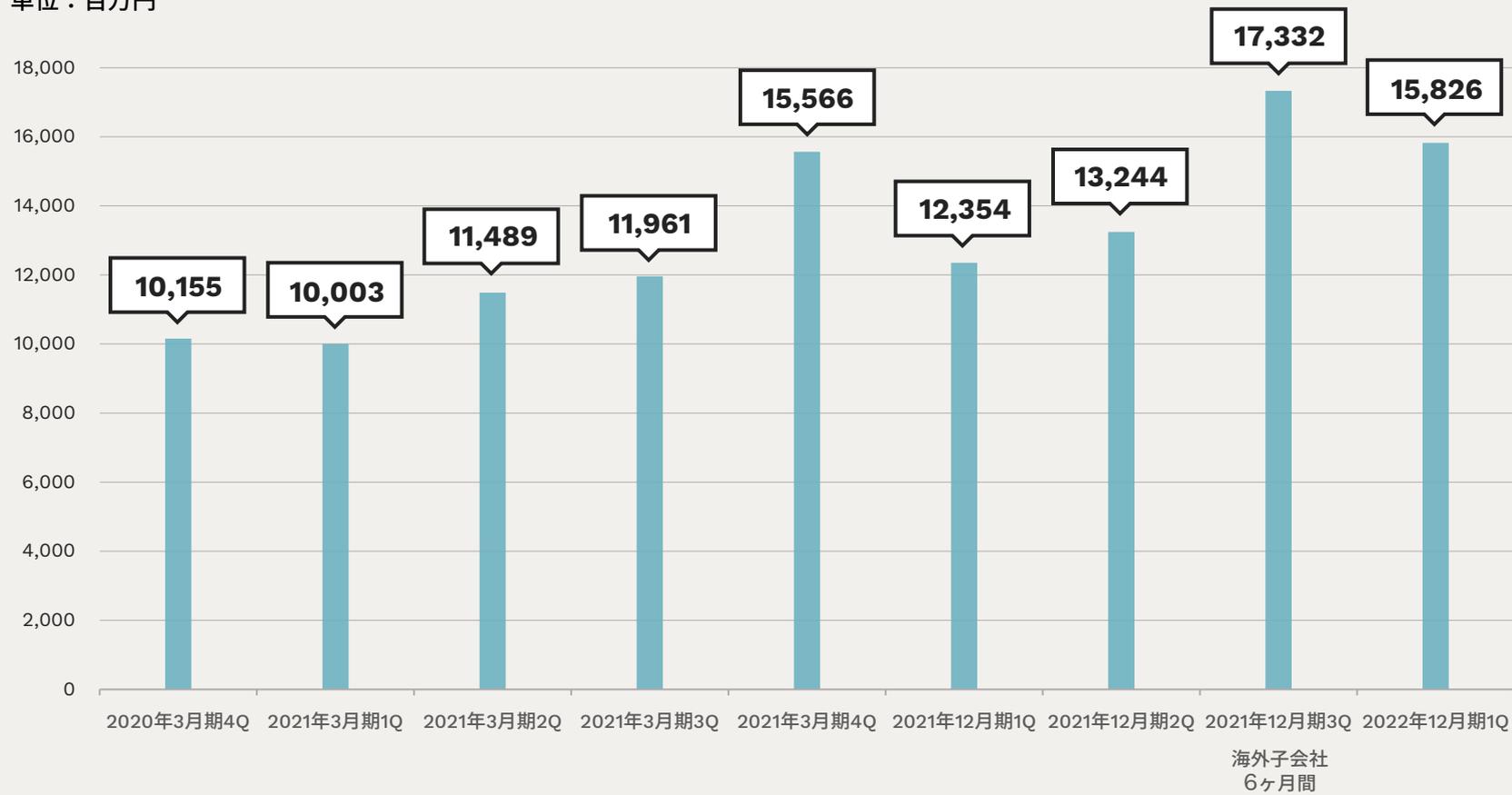
単位：百万円



※2021年12月期「国内会社12ヶ月間」は、2021年12月期の実績に、2021年3月期第4四半期(2021年1月～3月)の国内会社を加えた参考値です。  
(決算期の変更に伴い、2021年12月期は国内会社の会計期間が9ヶ月間となります)

# 連結取扱高 四半期推移

単位：百万円



※「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い、海外子会社の会計期間が6ヶ月間となります。

# 連結売上原価 四半期推移

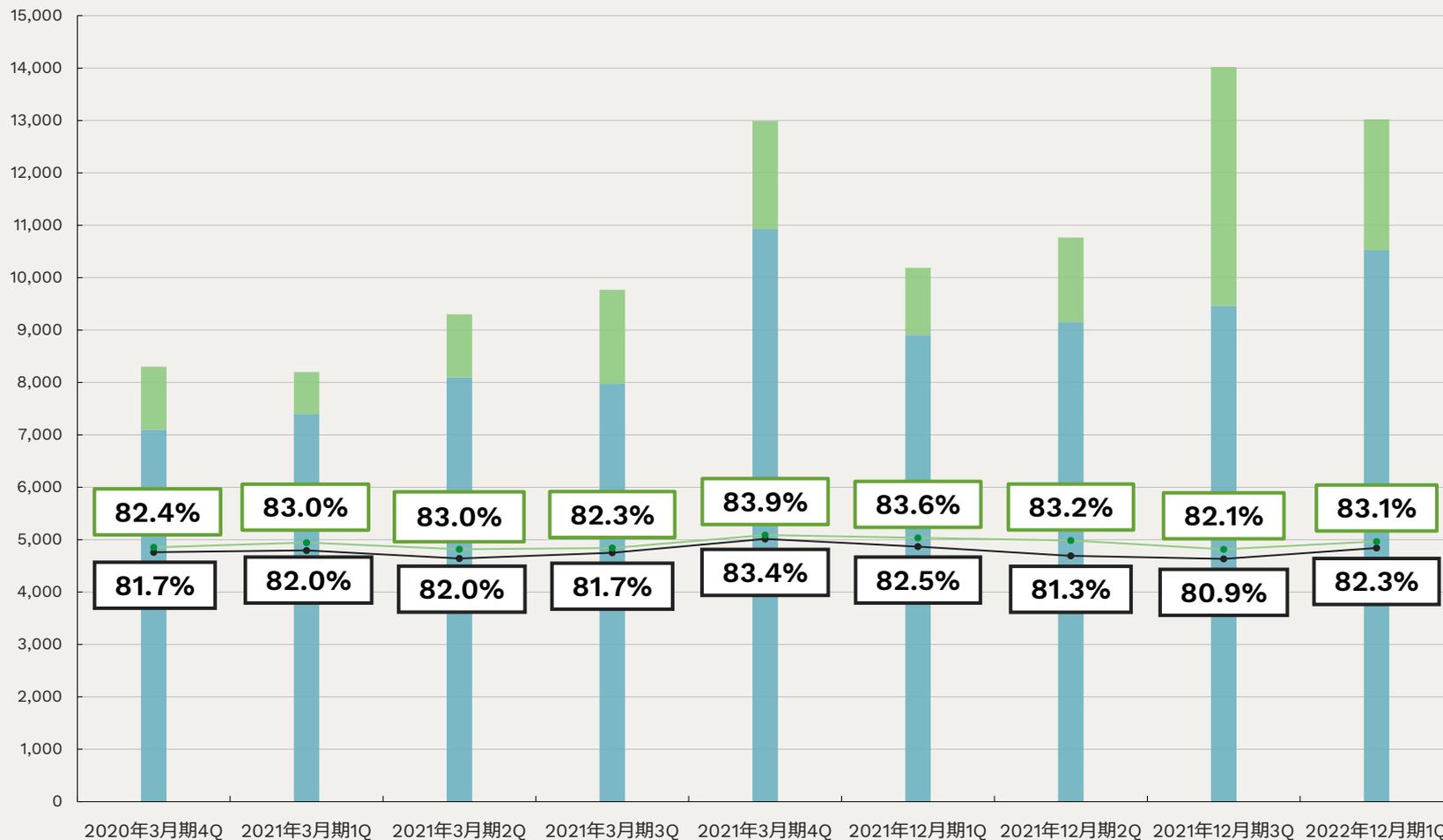
単位：百万円

■ 掲載料

■ その他原価

—●— 売上原価率

—●— 掲載料率



海外子会社  
6ヶ月間

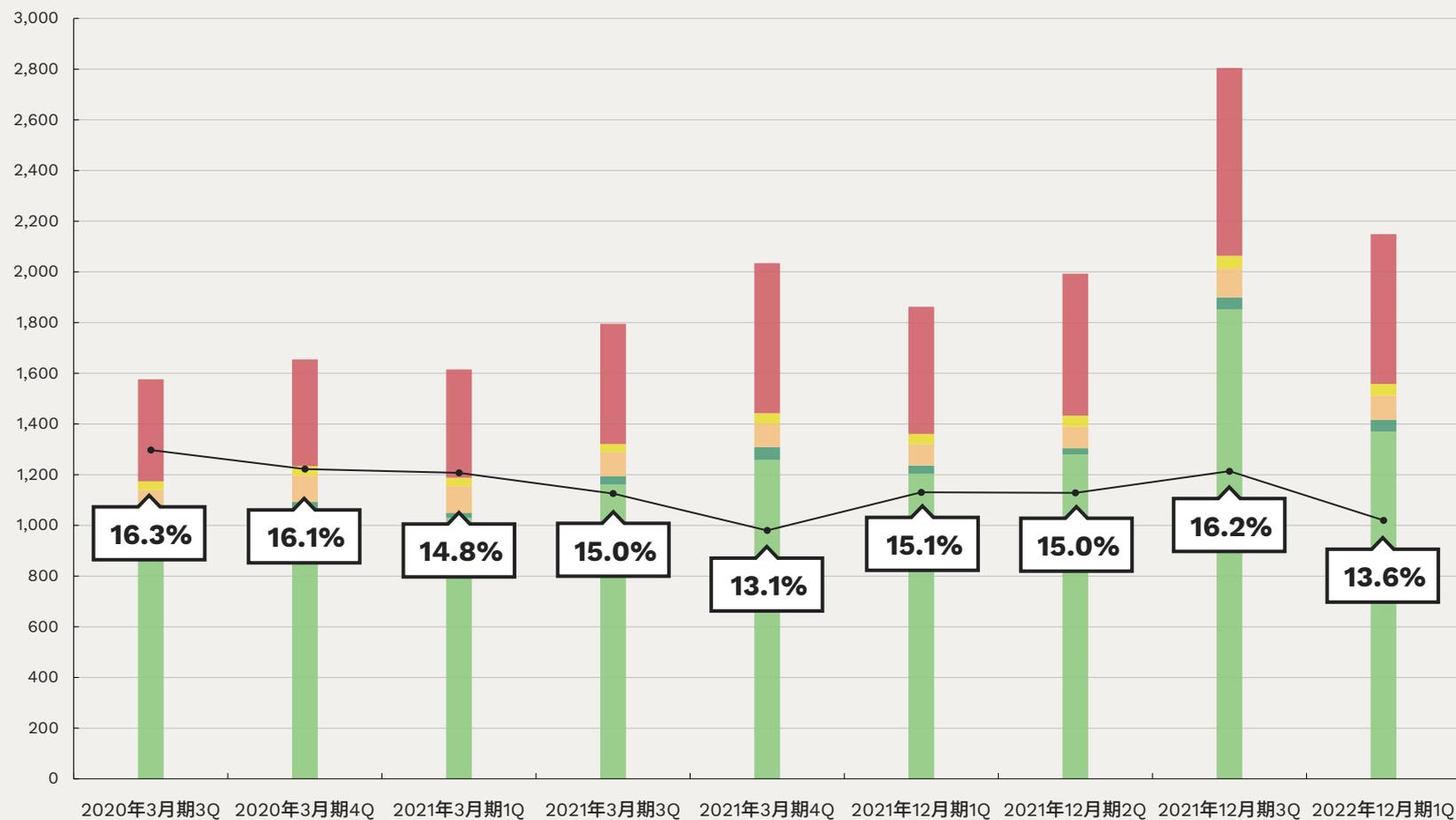
※「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い、海外子会社の会計期間が6ヶ月間となります。

※掲載料、掲載料率は単体での数値となります。

# 連結販管費 四半期推移

単位：百万円

■ 人件費   
 ■ 採用教育費   
 ■ 地代家賃   
 ■ 減価償却費   
 ■ その他経費   
 ●— 販管費率



海外子会社  
6ヶ月間

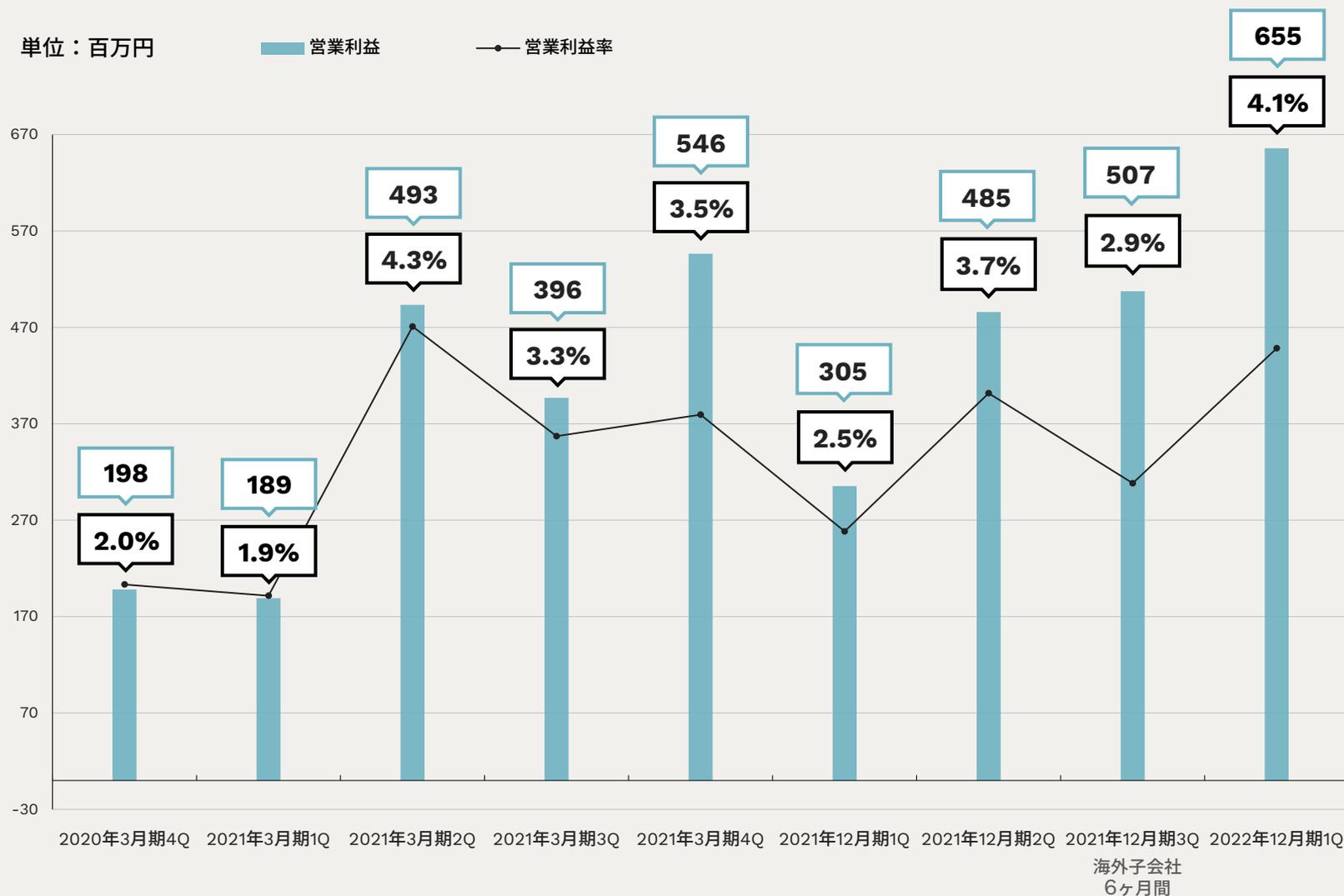
※「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い、海外子会社の会計期間が6ヶ月間となります。

# 連結営業利益 四半期推移

単位：百万円

■ 営業利益

—●— 営業利益率



※「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い、海外子会社の会計期間が6ヶ月間となります。

# 連結貸借対照表（前四半期比）

[ 単位：百万円 ]

	2022年12月期1Q	2021年12月期3Q	増減額	増減率
流動資産	20,793	21,762	▲969	▲4.5%
（現預金）	9,621	9,916	▲295	▲3.0%
固定資産	3,669	3,511	+157	+4.5%
総資産合計	24,462	25,274	▲811	▲3.2%
流動負債	10,112	10,171	▲58	▲0.6%
固定負債	222	165	+56	+34.5%
負債合計	10,334	10,336	▲1	▲0.0%
純資産合計	14,128	14,937	▲809	▲5.4%

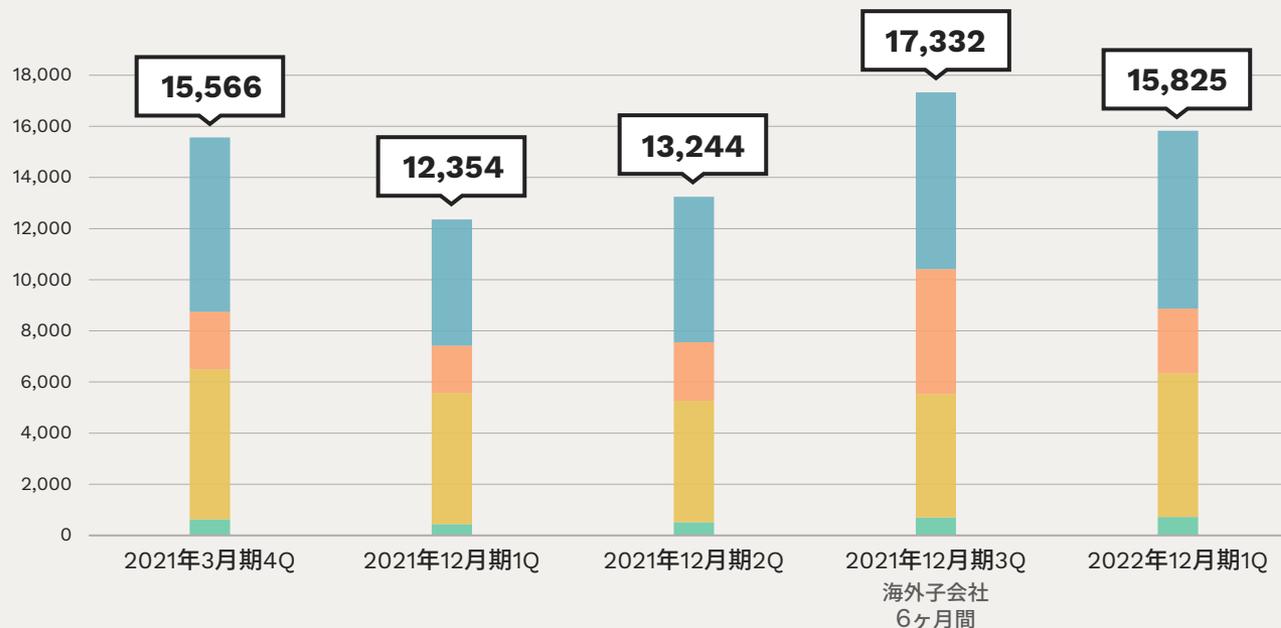
※ 2021年12月期より決算期を変更したため、前四半期は2021年12月期3Qとなります。

自己株式の取得を行った事により、純資産額が減少しております。

【参考】 2022年1月1日～3月31日の自己株式取得額：1,215,076,700円

その後の取得状況については、当社ホームページの「IR情報」をご確認ください。

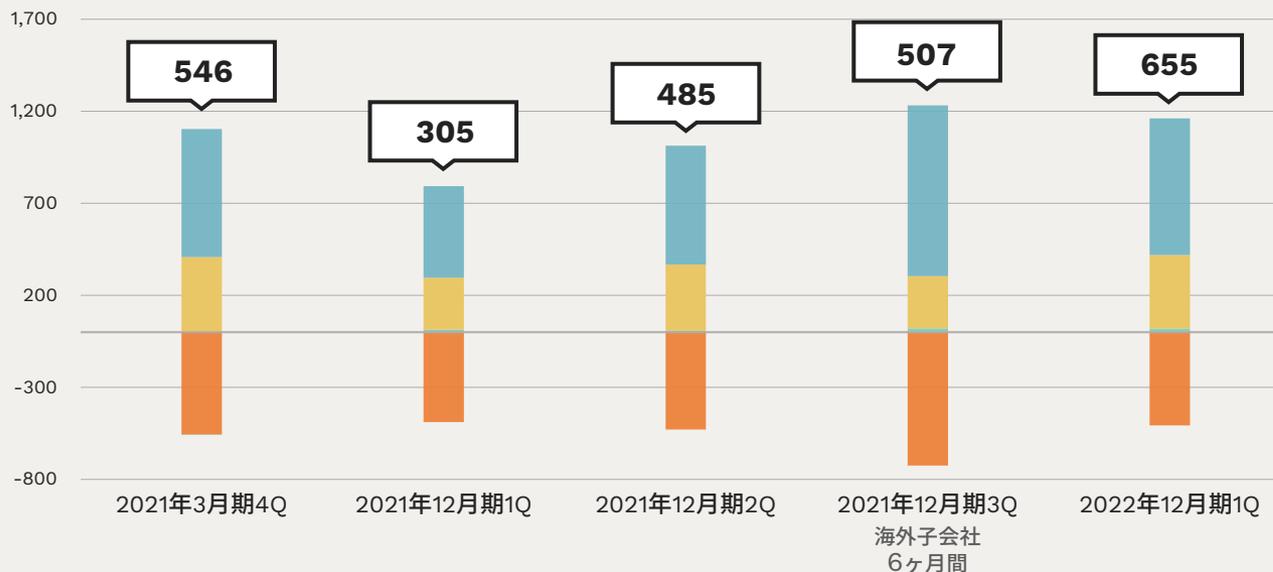
# セグメント内識別連結取扱高構成比 四半期推移



	2021年3月期4Q	2021年12月期1Q	2021年12月期2Q	2021年12月期3Q	2022年12月期1Q	前四半期比 増減額
■ エージェンシー(国内)	6,815	4,938	5,686	6,913	6,957	+44
■ エージェンシー(海外)	2,252	1,848	2,291	4,885	2,526	▲2,358
■ アドプラットフォーム	5,868	5,125	4,746	4,826	5,619	+793
■ その他	629	442	519	706	722	+15
合計	15,566	12,354	13,244	17,332	15,826	▲1,505

※「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い、海外子会社の会計期間が6ヶ月間となりますので、2022年12月期1Qとの増減率は記載しておりません。

# セグメント内識別連結営業利益構成比 四半期推移

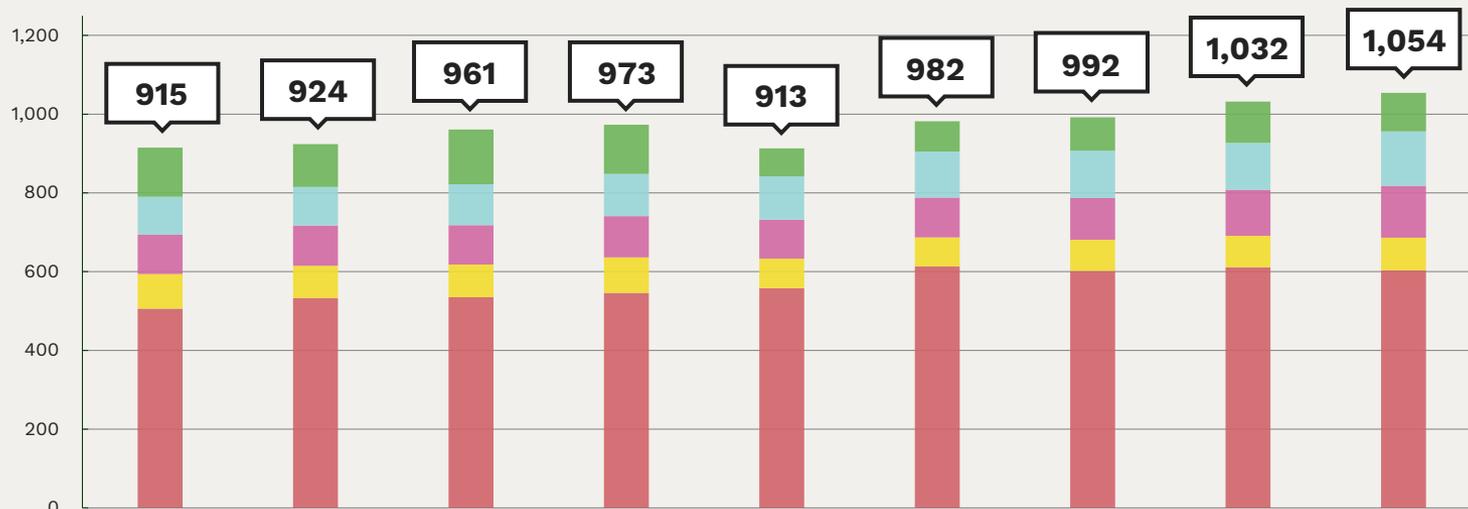


単位：百万円

	2021年3月期4Q	2021年12月期1Q	2021年12月期2Q	2021年12月期3Q	2022年12月期1Q	前四半期比 増減額
■ エージェンシー	695	497	646	928	742	▲185
■ アドプラットフォーム	408	282	360	283	399	+115
■ その他	▲0	14	7	21	20	▲0
■ 消去又は全社	▲557	▲489	▲529	▲725	▲507	+218
合計	546	305	485	507	655	+148

※「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い、海外子会社の会計期間が6ヶ月間となりますので、2022年12月期1Qとの増減率は記載しておりません。

# 当社グループの従業員数 四半期推移



単位：名

	2020年 3月期4Q	2021年 3月期1Q	2021年 3月期2Q	2021年 3月期3Q	2021年 3月期4Q	2021年 12月期1Q	2021年 12月期2Q	2021年 12月期3Q	2022年 12月期1Q
日本アドウェイズ	506	533	535	546	558	613	602	611	603
中国アドウェイズ	88	82	83	90	75	74	79	80	83
国内子会社	100	102	100	105	99	101	106	117	132
海外子会社（中国以外）	96	98	104	107	110	117	120	119	138
派遣／アルバイト等	125	109	139	125	71	77	85	105	98
合計	915	924	961	973	913	982	992	1,032	1,054

# 会社概要

会社名 株式会社アドウェイズ（英名：Adways Inc.）

設立年月日 2001年2月28日

事業概要 インターネット関連事業

代表者氏名 山田 翔

資本金 1,716百万円 [ 2022年3月末日現在 ]

取扱高 42,930百万円（国内会社9ヶ月間） [ 2021年12月期連結 ]

従業員数 1,054名（グループ全体） [ 2022年3月末日現在 ]  
※臨時雇用者含む